

令和元年度 授業改善推進プラン（小学校）

教科	授業改善のための具体的な取組	学校として位置付けている授業改善のための具体的な取組の目標値や評価規準等	今年度の評価や修正点
国語	<p><1年生>普段の学習の中で既習のひらがなや漢字を正しく使わせるとともに、ドリルやノート指導を繰り返し行う。また、日記や作文指導において、「いつ」「どこで」「だれと」「なにをした」などのメモを書き、それをもとに文章を構成させる。</p> <p><2年生>日常生活に即した言葉を用いた学習内容を取り入れ、興味や意欲をもって取り組めるようにする。物語文や説明文など様々なジャンルの文章を扱う。</p> <p><3年生>筋道立てて考える力を養うために、自分の書いた文章の間違えを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりする活動を作文指導に取り入れる。</p> <p><4年生>作文指導では「はじめ」「中」「終わり」の組み立て表を用いて書かせ、内容を自分で整理できるようにさせる。</p> <p><5年生>目的や意図に応じた表現力を養うため、必要な情報や疑問など複数の内容を結び付けて書いたり話したりする活動を設定する。</p> <p><6年生>まとまりのある文章を書けるようにさせるため、作文指導では言葉を具体化したり抽象化したりする活動を取り入れる。</p>	<p><1年生>ひらがなや漢字学習はドリルとノートを活用し、ノートや作文にひらがなや漢字を正しく書くことができる。また、メモを活用し、文章の順序に気を付けて、作文や日記を書くことができる。</p> <p><2年生>身近なことや経験したことなどから話題を決め、順序に沿って話したり、書いたりすることができる。</p> <p><3年生>たくさんのお話文や説明文を読み、感想や考えたことを伝え合うことができる。また、自分の書いた文章の間違えを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、自分の書いた文章を整えることができる。</p> <p><4年生>書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係性に注意したりして、文章の構成を考えることができる。</p> <p><5年生>構成や記述など、条件に即して一定のまとまった文章にして書いたり話したりすることができる。</p> <p><6年生>「初め」「中」「終わり」で構成された文章を書いたとき、「初め」「終わり」の内容を「中」で具体的な言葉に言い換えることができる。</p>	
社会	<p><3年生>資料を読み取る力や調べたことをまとめる力を養うために、調べたことを表やグラフに表し、気付いたことをまとめる活動を取り入れる。</p> <p><4年生>資料の活用力を高めるために、グラフなどの数値を読み取るだけでなく、そこから分かることや、予想できることなどについて話し合ったり調べたりする活動を取り入れる。</p> <p><5年生>資料から思考・判断したことを図や表、関係図、文章、新聞などで適切に表現する活動を取り入れる。</p> <p><6年生>複数の資料を複合的に読み取る力をつけるため、資料を見比べて、解決するような問題を意図的に設定する。</p>	<p><3年生>表やグラフから、資料の特徴や気付いたことを読み取り、ノートや新聞にまとめることができる。</p> <p><4年生>地図から読み取ったことや資料から考えたことを、ノートや新聞にまとめることができる。</p> <p><5年生>構成や記述など、条件に即して一定のまとまった文章にしてノートに書いたり話したりすることができる。</p> <p><6年生>問題に対する考え方の根拠を、二つ以上の資料に書かれた内容から説明できる。</p>	
算数	<p><1年生>数量の関係を正しく捉える力を身に付けるために、図や数直線等に整理して問題場面について考えたり、立式の根拠として説明したりする機会を設定する。</p> <p><2年生>、計算の意味と性質、図形や量の概念の理解を深めるため、問題を絵・図・式・言葉で考え説明する活動を取り入れる。</p> <p><3年生>朝学習や家庭学習で計算のスキルを確実に身に付けさせる。筋道立てて考える力を養うために、自分の考えをもち、少人数で自分の考えを伝えたり、質問したりする活動を取り入れる。</p> <p><4年生>文章問題を解く力を付けさせるために、文章を読む際にポイントとなる言葉、数、何を聞かれているのかをチェックさせ、絵や図でイメージさせる。</p> <p><5年生>問題場面や立式の根拠を言葉や図、式、数直線などを用いて説明する活動を多く取り入れる。</p> <p><6年生>「問題をより簡単に、より正確に解決すること」を実現するため、より良い考え方を選択する活動を取り入れる。</p>	<p><1年生>自分の考えを簡単な絵や図・言葉を使って表現した上で立式し、友達に伝え交流する学習を積み重ねる中で深く考えることができる。</p> <p><2年生>自分の考えを絵や図、式・言葉を使って表現し、友達に伝え交流する学習を積み重ねる中で理解を深めることができる。</p> <p><3年生>繰り上がりりのたし算、繰り下がりりの引き算、かけ算を正しく計算することができる。</p> <p><4年生>立式した根拠となる理由を言葉や図で表現し、問題を解くことができる。</p> <p><5年生>問題の要点を文章や資料から整理し、正確に式に表して解くことができる。</p> <p><6年生>自分の考えと友達のを比べたとき、「より簡単に、より正確に」という視点からより良い解決方法を選択できる。</p>	
理科	<p><3年生>結果から考察する力を養うために、「なぜだろう」と考えさせることができる導入をしたり、めあてを明確にしたりする授業展開をする。</p> <p><4年生>学習内容と子供たちの経験とを結び付けられるような課題を設定し、それをもとに思考を表出させる活動を取り入れえる。</p> <p><5年生>実験や観察をした結果から何が分かるかを考え、端的にまとめる活動を重視する。</p> <p><6年生>科学的思考に基づいた予想をできるようにするため、「～という結果なら～ということがいえる」というところまで書く活動を取り入れる。</p>	<p><3年生>実験などの結果から、ノートに分かったことや気づいたことを書くことができる。</p> <p><4年生>予想や結果などについて、文章だけでなく、絵やイメージマップ、コンセプトマップなどいろいろな手法で表すことができる。</p> <p><5年生>条件を変えて行った実験や観察の過程や結果を的確に記録または記述し、自然現象の規則性についての考えをもつことができる。</p> <p><6年生>実験結果を予想する場面で、「自分は～という結果になると思う。もしその結果になれば、～ということがいえる」とまとめることができる。</p>	
音楽	<p><1年生>呼吸や発音の仕方に気を付けて、互いの声や伴奏を聴いて合わせて歌えるように支援を行ったり、児童同士で聴き合い、教え合ったりする活動を行う。</p> <p><2年生>範唱を聴いたり、ペアやグループで歌ったりすることで、発声や発音に気を付けて歌えるようにする。また、旋律楽器や打楽器を使って、音楽の仕組みを用いて、音楽づくりを楽しむ活動を重視する。</p> <p><3年生>音楽表現をのびのびと楽しめるよう、互いに音を聴き合いながら、合わせて演奏する活動を取り入れる。また、ペア活動やグループ活動の充実を図る。</p> <p><4年生>音楽表現に必要な基礎的な技能が身に付けられるよう、既習の活動を何度も復習するなど、個人指導を充実させる。</p> <p><5年生>表現の発表で積極的に参加できるよう、互いの表現のよさを認め合い、主体的に表現する活動を重視する。</p> <p><6年生>楽曲への思いや意図をもてるよう、表現の工夫の楽しさや面白さを感じ、互いの考えを認め合う活動を重視する。</p>	<p><1年生>伴奏を聴き、自分や友達の歌声に気を付けて歌うことができる。また、体を動かしたり、拍をとったりしながら楽曲や演奏を感じ取ることができる。</p> <p><2年生>互いの歌声や伴奏を聴いて、発声や発音を意識しながら、声を合わせて歌うことができる。また、鍵盤ハーモニカや打楽器を使って、音遊びや合奏を楽しむことができる。</p> <p><3年生>互いの歌声や楽器の音、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり音を合わせて演奏したりしている。</p> <p><4年生>呼吸や発音の仕方に気を付け自然で無理のない歌声で歌ったり、音色や響きに気を付け楽器を演奏している。</p> <p><5年生>互いの表現のよさを認め合い、より豊かな音楽表現になるよう自分の思いを持ち表現の工夫をしている。</p> <p><6年生>表現活動を通して、自分が表したい音楽表現を考えて、表現に対する思いや意図をもつことができる。</p>	

図画工作	<p><1年生>自分が表したいことに合わせて材料や用具や表現方法を選ぶことができるよう、発達段階に合わせて計画的に造形体験を設定する。</p> <p><2年生>主体的に考え、工夫して創造的につくったり、表したりできるように、児童の実態に合った題材を設定する。</p> <p><3年生>安全面を意識できるよう、導入場面で用具の使い方の実演や映像を見せるなど視覚的に理解させるとともに、個別指導を充実させる。</p> <p><4年生>意欲的に活動できるよう、一人一人の気付きや思いに寄り添い、共感的に認めることで、安心して自分の思いを深めるような活動を重視する。</p> <p><5年生>積極的に活動に取り組むことができるよう、試行錯誤するなかで自己決定する学習活動を設定し、主体性をもって表現できるようにする。</p> <p><6年生>表現の深まりや個々の満足感が得られるよう、互いのよさを認め合い学びを広げ深める関わり合いをもたせるような活動を設定する。</p>	<p><1年生>身近で使いやすい材料や用具に十分に慣れ、表したいことを工夫して活動することができる。</p> <p><2年生>楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、創り出す喜びを味わおうとすることができる。</p> <p><3年生>カッターや金づちなどの用具を、自分の表したいことに合わせて、安全に気を付け正しく扱うことができる。</p> <p><4年生>題材名や材料などから豊かに発想し、自分のイメージを持ちながら表現することを楽しむ。</p> <p><5年生>題材のテーマ、材料、表現方法などについて、自分の思いをもって選んだり、想像力を働かせて表し方を工夫したりすることができる。</p> <p><6年生>話し合いや鑑賞活動を通して、自分と他者の考えの違いや表現の良さや面白さを感じ取って自己の表現に生かしたり、つくり出す喜びを感じたりすることができる。</p>	
体育	<p><1年生>基本的な知識や技能を身に付けさせるために、発達段階に応じた運動遊びを設定する。また、簡単なカードを用いることにより、めあてをもたせたり自己の成長に気付かせたりする。</p> <p><2年生>体を動かす心地よさを味わったり、基本的な体の動きを身に付けられるよう、発達段階に応じた運動遊びを設定する。また、ゲームでは、簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、友達と考えを伝え合う。</p> <p><3年生>投げる力を付けていくために、用具やデジタル機器を活用し、自分のフォームを見直す活動を取り入れる。</p> <p><4年生>作戦カードや振り返りカードを積極的に用いることで、自分たちの課題や練習方法を見付けられるようにする。</p> <p><5年生>主体的に運動に取り組むことができるよう、カードを使って自分のめあてを明確にできるようにする。</p> <p><6年生>ボールゲーム領域の活動では、ルールをしっかりと理解して活動に取り組めるよう、デモゲームを多く取り入れる。</p>	<p><1年生>めあてをもって楽しく運動したり、様々な活動を通して基本的な動きを身に付けたりすることができる。また、カードの振り返りを通して、自己の成長に気付き、新たなめあてをもつことができる。</p> <p><2年生>発達段階に応じた運動遊びを行う中で、運動を楽しみ、それぞれの基本的な体の動きを身に付けることができる。また、ゲームの決まりを守り、友達と攻め方などを話し合い、工夫して活動することができる。</p> <p><3年生>運動を楽しく行うための投げる動きや技能を身に付ける。</p> <p><4年生>作戦カードなどを使った話し合いを通して、練習方法を工夫して運動に取り組むことができる。</p> <p><5年生>運動の種目に応じて、自分のめあてを立てたり、見直したりできる。</p> <p><6年生>ゲームのルールを活用して、チームの友達と作戦を立て、勝つためのゲームの組み立てができる。</p>	
家庭科	<p><5年生>基礎的な技能の定着を図るために、製作活動においてはめあてを明確にし、ペア学習を取り入れるなど学習形態を工夫する。</p> <p><6年生>製作活動においては、段階を追って意欲的に課題に対して取り組むことができるように学習過程やワークシートを工夫して個別指導の充実を図る。</p>	<p><5年生>製作活動に関心を持ち、安全に気を付けて、計画的に協力し合って製作することができる。</p> <p><6年生>製作に関心を持ち、見通しをもって、目的に応じて自分なりの工夫をした作品を作り上げることができる。</p>	
生活科	<p><1年生>自分と身の回りの人々や自然、社会とのかかわりについて気付いたり考えたりできるような活動を取り入れる。</p> <p><2年生>活動や体験での気付きや考えを言葉や絵、動作など様々な方法で表現していくようにする。</p>	<p><1年生>身近な自然や身の回りにあるものを使って遊んだり、遊ぶための道具を工夫して作ったりすることを通して、その面白さや不思議さに気付き、伝えようとしている。身の回りの植物や生き物に関心を持ち、それに関連した本や図鑑を探したり、進んで読んだりしようとするすることができる。</p> <p><2年生>体験的な活動によって得られる実感や納得、本音に支えられた気付きを大切に、自分の考えをもつことができる。</p>	